３.全体活動総括

内藤　代表

I. 視点 “必須業務”

滋賀県レイカディア大学草津キャンパスサポートの会活動規約

第1章　総則

（サポートの内容）

第3条　サポートの会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

（1）学生募集支援
（2）大学祭への支援
（3）学生対象初心者パソコン講座の実施
（4）レイカディア大学ホームページの運用管理
（5）シニアの学び舎の発行、配布
（6）地域貢献活動のアンケート調査
（7）園芸学科実習助手
（8）陶芸学科講師助手
（9）構内美化活動
（10）校外学習の引率サポート
（11）基礎講座のオンライン配信の運営
（12）在学生との交流活動
（13）その他、必要なサポート

我々サポートの会に
“期待されている活動” は
規約に明記　されている

第1章　総則
第３条 (1) -> (13)

これらの仕事は
果たして出来たのか？

第1章
第3条（サポート内容）

＜サポートの主担当部会＞
（注）色々な形で他部会も参画

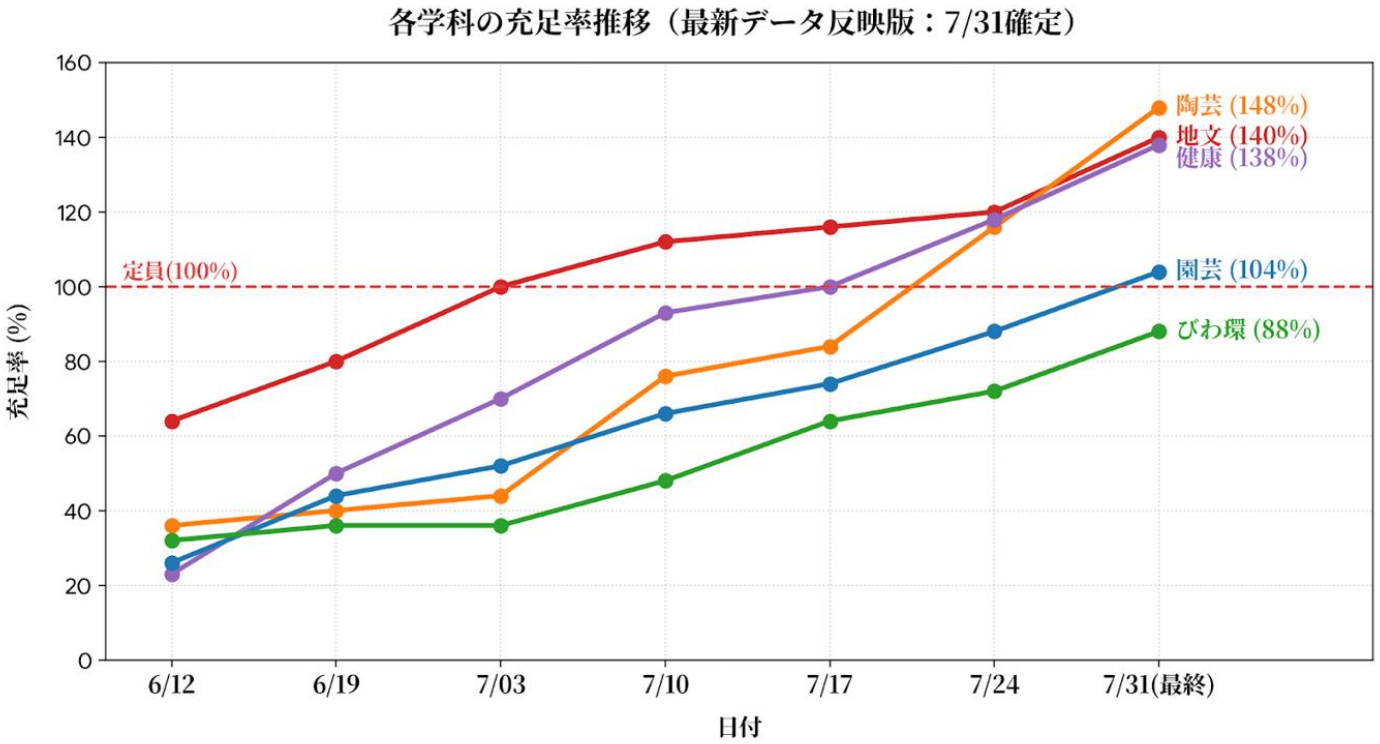
（1）学生募集支援	三役・学生募集PJ・全会員
（2）大学祭への支援	事業企画部会・三役
（3）学生対象初心者パソコン講座の実施	広報情報部会・自主講座部会
（4）レイカディア大学ホームページの運用管理	広報情報部会
（5）シニアの学び舎の発行、配布	広報情報部会
（6）地域貢献活動のアンケート調査	地域活動部会
（7）園芸学科実習助手	園芸A＆B学科部会
（8）陶芸学科講師助手	陶芸学科部会
（9）構内美化活動	園芸クラブ
（10）校外学習の引率サポート	地文学科部会・びわ環学科・園芸学科
（11）基礎講座のオンライン配信の運営	学科部会・総務・三役
（12）在学生との交流活動	6学科部会・5部会
（13）その他、必要なサポート	三役・全部会

各部会・三役の報告通り期待される
仕事・活動は問題なく実施された

評価は？



（参考） (1)学生募集支援 については今期は大きな伸長が見られた！



・各学科順調に伸長して草津全体として
　非常に良い結果となった
・特に陶芸の後半の伸びが顕著
・陶芸、地文、健康が大幅に定員オーバー
・園芸ほぼ100%の充足率
・びわ環も90%の充足率

草津は定員165名に対して応募者数199名（201名の内2名辞退あり）
上記結果に伴い定員を上回る応募があった学科については公開抽選実施
　＜草津キャンパス＞ 8月7日(金) 14:00 レイカディア大学にて実施された
　　園芸学科　　・・・リカレント(卒業生)のみ抽選
　　陶芸学科　　・・・全員が抽選対象(リカレントを除く)
　　びわこ環境学科　・・・抽選は無し
　　地域文化学科　　・・・全員が抽選対象(リカレントを除く)
　　健康づくり学科　・・・全員が抽選対象(リカレントを除く)

　　*入学許可予定者数は厳格に定員通りとなった模様

II. 視点 “重点方針”

15期第1回役員会(10/27/’25)
において現在のサポートの会の問題点と
その対策のための**重点方針**を打ち出した

現在の問題点

今までのサポートの会の問題点は？

・サポートの会の活動を活動対象である在学生は
十分には知らない、知らされていない，興味も無い
・何をしてくれてるのか知らない　＊内藤の私見



結果、何が起きているか？

・サポートの会の活動が自己満足に陥っている懸念
活動対象の理解がなければ楽しく活動できない
・卒業後自発的にサポートの会へ入る人も少ない
活動内容が周知されていれば自発的に
サポ会に入る人は多いはず



2年間の在学生、1年間のサポ会での経験から
ずーーーーっと感じてきたことです

重点方針

・・・と言うことで、15期サポートの会の重点方針は
「在学生にサポートの会の活動を知ってもらうこと」
一杯イイことしてるんだからもっと知ってもらおうよ！！！

<アクション１>

正副合同学科長会議　(2025年11月14日)



まず在学生のリーダー（学科長・副学科長）の皆さんにサポートの会を理解していただくために調整会議への出席を要請

調整会議についての今期方針

➢ **今期の調整会議で注力したいこと**

下記の出席者を増やす！

- ・在学生学科長　（＊規約上は正式な会議メンバーです！）
- ・一般在学生　（聴講可）
- ・サポートの会の一般会員　（聴講可）

今までは、残念ながら上記の参加者はゼロのことも多かった
調整会議の目的は関連組織（えにしの会、同窓会、彦根キャンパス）との
情報共有だけでなく、役員会方針に基づく活動計画、活動報告を
支援対象である在学生 の方々と 支援主体のサポートの会の会員 の方々に
周知・理解していただく・・・それも調整会議の重要な目的の一つ
会議構成員の学科長の皆さんに輪番で調整会議に出席していただくなどの
方策も検討したいと思っています（3年前までは実施していた・・・らしい）
本来は自発的な出席の形を望みますが・・・・ご理解、ご協力をよろしくお願いします！

＊滋賀県レイカディア大学草津キャンパスサポートの会活動規約＊
（調整会議）
第16条　調整会議は第9条に定める役員、大学事務局、NPO法人レイカディアえにしの会、レイカディア大学同窓会、レイカディア大学彦根キャンパスサポートの会、及び在学生の学科長で構成し、役員会決定事項等の調整機関とする。

<アクション2>

在学生へのサポートの会説明会



(日時)　2月27日（金） 46期生対象
　　3月27日（金） 47期生対象

担当　：　6学科部会
場所　：　レイ大　各学科クラスルーム
　　クラス活動で使う以下の教室を使用し、
　　説明会を実施
　　（園芸A ）　・・・第１教室
　　（園芸B）　・・・第２教室
　　（陶芸）　・・・陶芸室
　　（びわ環）　・・・第２研修室
　　（地文）　・・・介護研修室
　　（健康づくり）　・・・第４研修室

（注）・「基本資料」は三役準備
・必要に応じ各学科部会で適宜アレンジ
・司会・進行は各学科部会
・説明会終了後に当資料のPDF版を
学科長あるいは副学科長に送信

＜アクション 3＞

学科長会議の積極的な活用

今期は副代表に学科長会議での“サポートの会ー在学生”の繋ぎ役を担ってもらい
継続的に調整会議への出席要請
サポートの会主催の各種イベントの紹介なども積極的に参加要請・・・部会代表なども直接説明

＜アクション 4＞

調整会議の場で**在学生の皆さんの意見・提言**など収集・・・我々の活動見直しも出来た

結果は？

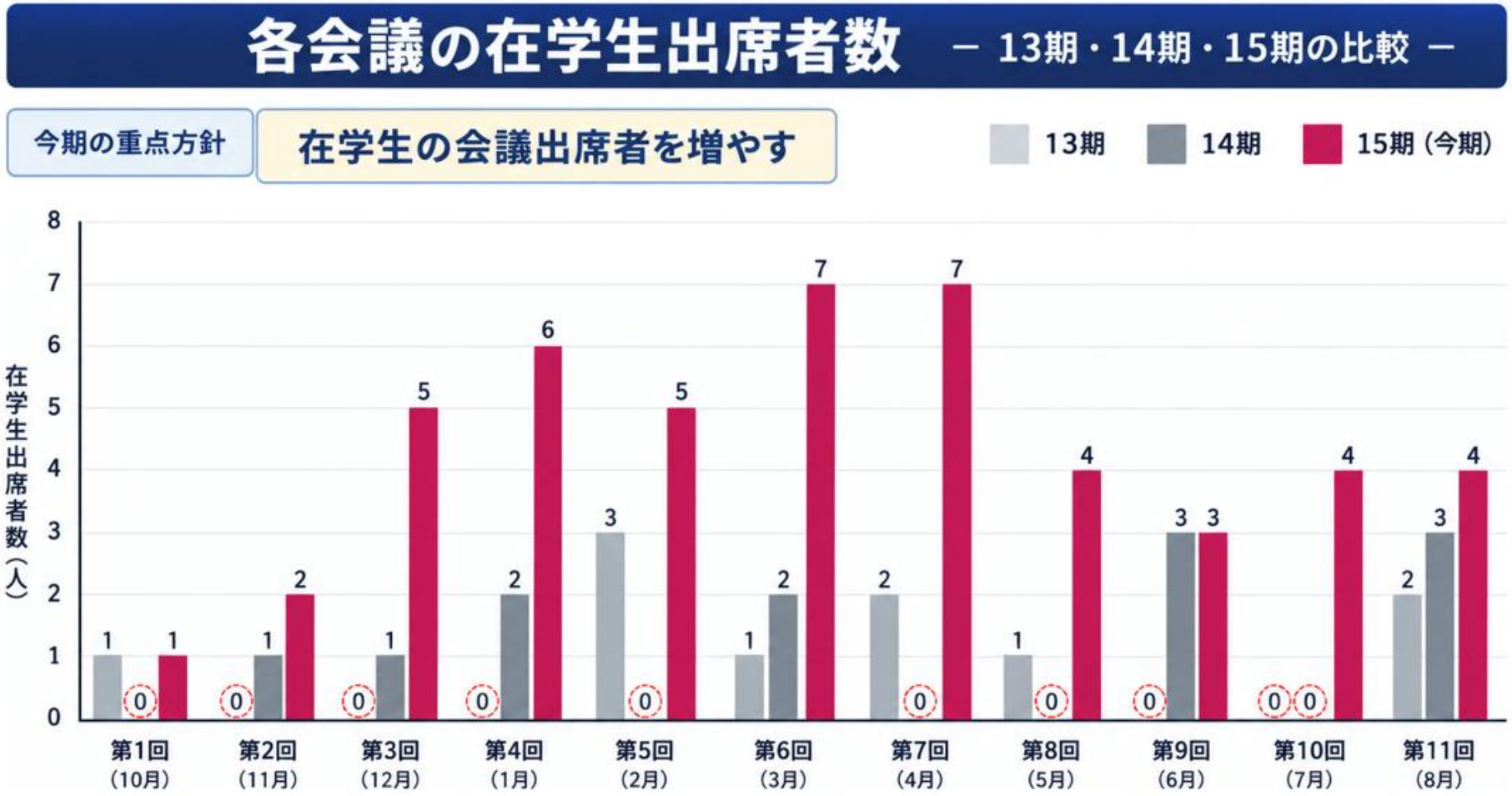
調整会議	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回
開催日	10/27/'25	11/20/'25	12/24/'25	1/26/'26	2/26/'26	3/25/'26	4/27/'26	5/26/'26	6/23/'26	7/29/'26	8/25/'26
在学生出席者	1	2	5	6	5	7	7	4	3	4	4
46期	1	1	0	1	2	1	4	2	1	2	2
47期	0	1	5	5	3	6	3	2	2	2	2

出席者ゼロの回がなく毎回多数の出席があった！
過去においてはこんなことは無かった！
またサポートの会主催の各種イベントにも
積極的に参加いただいた

在学生の皆さんに感謝！



（参考）



・15期の取り組みで在学生の調整会議出席者が大幅に増加　！
・13期14期では出席者がゼロの時も多かったが
　今期（15期）では全11回でゼロは皆無
・特に第3回以降は今までに見られないような出席者数があった

評価は？



しかし　・・・・ サポートの会への入会者数は低調

本日現在入会率が残念ながら44%という昨年と比較してもかなり低い数字となっています
ただし昨年も15期スタート時は56%でしたが15期会員の皆さんの努力で
入会する方が増えて65%まで上昇　！
16期スタート以降も引き続き積極的・継続的な勧誘活動をお願いします

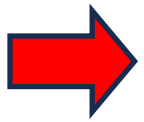
学科	在籍者数	入会申込者数			入会率
		全体	男性	女性	
園芸A	22	16	9	7	73%
園芸B	23	8	2	6	35%
陶芸	22	7	4	3	32%
びわ環	21	8	6	2	38%
地文	27	10	4	6	37%
健康	17	9	2	7	53%
計	132	58	27	31	44%

入会率向上のための今後の課題は？

サポートの会の存在意義や活動は今期で在学生の皆さんにかなり周知された（と思っている）が
　　・・・・・・サポートの会への入会には更なるアクションが必要！
在学生へのヒアリングでは
　「クラスのリーダー（学科長など）の積極的な入会を働きかけがないと
　　入会に関してはなかなかハードルが高い！」
この背景は過去の事例からも
　　ー＞入会者率が高い学科では学科長を中心として入会を率先・牽引してきた！
今後は交流会などを積極的に活用し如何に在学生リーダー（学科長など）にクラスを
牽引していただき入会者数を伸ばして行くか　・・・・今後の課題です！
もっとも一概にむやみに入会者数（入会率）を上げることを目指すのが良いかは分からない
大学運営の実態を知って自然な形で入会する…少数精鋭の体制も良いかも
　　＊大学・在学生支援活動に必要な最低限の人数は必要ですが



・・・と言うことで
この観点（入会率向上）
での今期の評価は？





III. 視点 “基本方針”

資料：15期 第1回役員会 (10/27/'25)

大学運営に必須なサポートは手抜きはしないという前提で
重点方針(3本柱)も見据えながら 効率化・簡略化・負荷の分散化
の観点で各活動を見直しましょう！

自分たち自身が 楽しみながら活動する！



これが15期サポートの会の基本方針

三役・代表としては、
まず役員会・調整会議を
同一日の午後に集約し
役員の負担を軽減したなど
そこそこの対策実施
ただし、まだまだ見直しが必要！

評価は？



各部会
皆さんで自己評価で
採点して下さい！

